

第11回光設計賞報告

光設計研究グループ企画の第11回「光設計賞」は、審査の結果下記の通り授賞者を決定しましたので報告いたします。

□ 受賞者

●光設計大賞

・該当なし

●光設計優秀賞（1件）

・「ガラスモールド法によるレンズへの反射防止構造体形成技術」

山田 和宏 氏, 梅谷 誠 氏, 田村 隆正 氏, 田中 康弘 氏（松下電器産業(株)）

笠 晴也 氏, 西井 準治 氏（(独)産業技術総合研究所）

●光設計奨励賞（2件）

・「携帯電話用超小型ズーム光学系の開発」

松坂 慶二 氏, 吉田 龍一 氏, 湯浅 智行 氏, 大澤 聡 氏

（コニカミノルタオプト(株)）

・「マルチパス構成による高効率緑色波長変換レーザー」

水島 哲郎 氏（松下電器産業(株)）

□ 応募

応募件数は7件でした。

□ 審査

審査はこれまでと同様に書類による1次審査(将来性, 実用性, 独創性に関して採点)の後, 審査委員に集まっていたいただき, 1次審査の結果及び各委員のコメントを考慮しつつ話し合いにより受賞者を決定しました。

□ 「ガラスモールド法によるレンズへの反射防止構造体形成技術」については, 反射防止ナノ構造体形成技術として, プロセスを考慮した最適な設計解を見出し, 実際にガラスモールド成型を行い, 非常に高性能な反射防止構造体を実現しております。将来への技術の方向性を示した点を高く評価し, 光設計優秀賞を授与することに致しました。

□ 「携帯電話用超小型ズーム光学系の開発」については, 誤差感度低減設計などの光学技術と超小型アクチュエータとの擦り合わせで, 非常に完成度の高い光学ズームモジュールを実現しております。携帯電話に早期に光学ズームモジュールを搭載したことを評価し, 光設計奨励賞を授与することに致しました。

□ 「マルチパス構成による高効率緑色波長変換レーザー」は, 実用性を考慮した独創的な光学構成を用いて, 高効率なグリーンレーザーを実現しております。この技術の早期のレーザーディスプレイ製品などへの展開を期待し, 光設計奨励賞を授与することに致しました。

□ 審査委員（順不同，敬称略，下線は審査委員長）

槌田 博文（オリンパス）

渋谷 真人（東京工芸大学）

立野 公男（光産業技術振興協会／日立製作所） 田中 康弘（松下電器）

徳光 純（キヤノン）

林 宏太郎（コノカミノルタオプト）

丸山 晃一（HOYA）

村上 照夫（光産業技術振興協会／東芝）

□ 授賞式／受賞記念講演

2008年11月4日～6日につくば国際会議場で開催されますOPJ2008（日本光学会年次学術講演会）で、授賞式及び受賞記念講演を行います。（授賞式および受賞記念講演は次号で報告致します）。

□ 第11回光設計賞実行委員

市橋 宏基 （松下電器 実行委員長）

金野 賢治 （コノカミノルタオプト）

西郡 恵美子 （サイバネットシステム）

光設計賞にご応募頂きました皆様，どうもありがとうございました。受賞者の皆様には心よりお祝い申し上げます。光設計研究グループは，今後も光設計賞を発展させていきたいと考えております。会員の皆様方には是非積極的にご応募頂くと共に，周囲の方々にも応募を促して頂きますよう，ご協力をお願いいたします。

（松下電器 市橋）